



## 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社トランスジェニック  
コード番号 2342 URL <https://transgenic-group.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福永 健司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理財務部長 (氏名) 渡部 一夫

TEL 092-288-8470

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,882	12.1	103		117		99	
2024年3月期第1四半期	3,280	32.8	106		128		78	

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 95百万円 ( %) 2024年3月期第1四半期 69百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	5.99	
2024年3月期第1四半期	4.64	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	10,668	5,853	53.9	346.43
2024年3月期	9,810	5,998	60.1	355.19

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 5,748百万円 2024年3月期 5,893百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		3.00	3.00
2025年3月期(予想)		0.00		3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	3.2	350	291.3	250	130.8	100		6.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1 社 (社名) 東北新和化学株式会社、除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料8ページ「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	16,999,141 株	2024年3月期	16,999,141 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期1Q	405,422 株	2024年3月期	405,422 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	16,593,719 株	2024年3月期1Q	16,857,719 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績見通しのご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの経済活動の正常化がより一層進み、所得環境の改善などを背景に、個人消費の緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方で、円安基調継続による物価高などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような中、創薬支援事業は、経営資源集約を通じた更なる事業運営の合理化、競争力・営業力の強化を目的とした株式会社新薬リサーチセンターと株式会社安評センターとの間の合併を2024年10月1日に予定しており、これら中核会社において経営統合へ向けた準備を進めてまいりました。また、遺伝毒性試験、中期発がん性試験や臨床試験などの高付加価値で差別化可能な試験の受注を積極的に推進し、前年同期と比較して受注高は大幅に増加いたしました。しかし、まだ仕掛中の試験が多く、第2四半期以降完了予定の試験が多いことから、当第1四半期連結累計期間の売上高に対する効果は限定的となり、前年同期比では減収となりました。

投資・コンサルティング事業は、2024年4月に連結子会社化した東北新和化学株式会社の売上がグループに加わりましたが、株式会社TGMにおいて前第1四半期連結累計期間にあった大型受注案件の売上が当第1四半期連結累計期間にはなかったことから、前年同期比で減収となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、2,882,713千円（前年同期比12.1%減）となり、営業利益につきましては103,056千円の損失（前年同期は106,954千円の営業利益）となりました。経常利益につきましても、為替差益等の営業外収益25,974千円及び買収関連費用等の営業外費用40,802千円を計上した結果、117,884千円の損失（前年同期は128,980千円の経常利益）となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、「法人税、住民税及び事業税」10,988千円、法人税等調整額△35,113千円（△は利益）及び非支配株主に帰属する四半期純利益207千円を計上した結果、99,429千円の損失（前年同期は78,201千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

#### ① 創薬支援事業

当事業は、創薬の初期段階である探索基礎研究・創薬研究から、非臨床試験、臨床試験まで、創薬のあらゆるステージに対応できるシームレスなサービスをグループで展開しております。

上記のとおり、当第1四半期連結累計期間は、高付加価値で差別化可能な試験の受注の推進により受注高は大幅に増加いたしました。また仕掛中の試験が多く、第2四半期以降完了予定の試験が多いことから、当第1四半期連結累計期間の売上高に対する効果は限定的となり、前年同期比では減収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は338,250千円（前年同期比30.6%減）、営業損益につきましては109,324千円の損失（前年同期は8,264千円の損失）となりました。

#### ② 投資・コンサルティング事業

当事業は、M&Aによる新規事業の推進や事業承継等に係る助言・支援サービスを行っております。

当第1四半期連結累計期間は、2024年4月に連結子会社化した東北新和化学株式会社の売上貢献があったものの、株式会社TGMにおいて前第1四半期連結累計期間にあった大型受注案件の売上が当第1四半期連結累計期間にはなかったことから、前年同期比で減収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は2,545,989千円（前年同期比8.9%減）となり、営業損益につきましても65,138千円の利益（前年同期比61.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,126,959千円となり、前連結会計年度末に比べ577,453千円増加いたしました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が154,824千円、仕掛品が165,230千円、商品及び製品が101,088千円、その他流動資産が216,161千円それぞれ増加した一方、現金及び預金が62,686千円減少したことによるものであります。

固定資産は3,541,623千円となり、前連結会計年度末に比べ280,130千円増加いたしました。これは主に、東北新和化学株式会社の連結子会社化に伴い、無形固定資産ののれんが113,623千円が増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,499,650千円となり、前連結会計年度末に比べ1,065,362千円増加いたしました。これは主に、未払金が178,432千円、短期借入金が700,000千円、前受金が205,494千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は1,315,569千円となり前連結会計年度末に比べ62,677千円減少いたしました。これは主に、長期借入金62,288千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は5,853,362千円となり、前連結会計年度末に比べ145,101千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失を99,429千円計上し、49,781千円の剰余金の配当を行ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予測につきましては、2024年5月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,478,229	2,415,543
受取手形、売掛金及び契約資産	1,342,735	1,497,559
商品及び製品	1,592,915	1,694,003
仕掛品	507,606	672,836
原材料及び貯蔵品	127,179	129,910
その他	507,679	723,840
貸倒引当金	△6,839	△6,735
流動資産合計	6,549,505	7,126,959
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,082,845	1,093,717
土地	896,676	917,473
その他(純額)	162,689	193,102
有形固定資産合計	2,142,211	2,204,293
無形固定資産		
のれん	512,287	625,910
その他	20,722	23,955
無形固定資産合計	533,010	649,866
投資その他の資産		
投資有価証券	128,593	129,465
その他	472,829	572,367
貸倒引当金	△15,151	△14,369
投資その他の資産合計	586,271	687,464
固定資産合計	3,261,493	3,541,623
資産合計	9,810,999	10,668,582

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	276,141	379,304
未払金	238,718	417,150
短期借入金	448,000	1,148,000
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	452,733	445,427
未払法人税等	43,908	13,298
前受金	655,548	861,043
賞与引当金	71,761	64,961
受注損失引当金	1,661	1,580
その他	231,815	154,885
流動負債合計	2,434,288	3,499,650
固定負債		
社債	123,000	123,000
長期借入金	1,184,570	1,122,282
長期末払金	13,526	11,704
退職給付に係る負債	37,644	37,922
その他	19,506	20,661
固定負債合計	1,378,246	1,315,569
負債合計	3,812,535	4,815,220
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	3,861,314	3,861,314
利益剰余金	2,067,097	1,917,886
自己株式	△135,948	△135,948
株主資本合計	5,842,463	5,693,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,959	26,447
為替換算調整勘定	25,461	28,874
その他の包括利益累計額合計	51,420	55,322
新株予約権	200	200
非支配株主持分	104,380	104,587
純資産合計	5,998,464	5,853,362
負債純資産合計	9,810,999	10,668,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,280,528	2,882,713
売上原価	2,641,165	2,381,367
売上総利益	639,362	501,345
販売費及び一般管理費	532,407	604,401
営業利益又は営業損失(△)	106,954	△103,056
営業外収益		
受取利息	2	17
為替差益	32,714	20,294
受取保険金	866	1,313
貸倒引当金戻入額	-	1,580
その他	2,083	2,768
営業外収益合計	35,666	25,974
営業外費用		
支払利息	10,831	8,389
買収関連費用	-	27,705
手形売却損	1,721	321
その他	1,087	4,387
営業外費用合計	13,640	40,802
経常利益又は経常損失(△)	128,980	△117,884
特別損失		
固定資産除却損	697	5,463
特別損失合計	697	5,463
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	128,282	△123,347
法人税、住民税及び事業税	20,641	10,988
法人税等調整額	34,945	△35,113
法人税等合計	55,586	△24,125
四半期純利益又は四半期純損失(△)	72,696	△99,222
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,505	207
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	78,201	△99,429



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	72,696	△99,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,352	488
為替換算調整勘定	2,303	3,413
その他の包括利益合計	△3,049	3,901
四半期包括利益	69,646	△95,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,151	△95,527
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,505	207

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社TGビジネスサービスによる株式取得に伴い、東北新和化学株式会社を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	22,383千円	31,025千円
のれんの償却額	11,140	12,670

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	創薬支援事業	投資・コンサル ディング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	485,566	2,794,511	3,280,078	450	3,280,528
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,500	568	2,068	△2,068	—
計	487,066	2,795,080	3,282,146	△1,618	3,280,528
セグメント利益又は損失(△)	△8,264	167,068	158,803	△51,849	106,954

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△52,299千円、各報告セグメントに含まれない収入450千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	創薬支援事業	投資・コンサル ディング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	336,750	2,545,962	2,882,713	—	2,882,713
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,500	26	1,526	△1,526	—
計	338,250	2,545,989	2,884,240	△1,526	2,882,713
セグメント利益又は損失(△)	△109,324	65,138	△44,185	△58,870	△103,056

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△58,870千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。